



みんなが
くらしやすい
阿倍野区に！

カジノより、
くらしの安心・希望を
「大阪都」はストップ！

いし たに

石谷ひさ子

石谷ひさ子

阿倍野区 市政対策委員長

消費税10%
ストップ！
改憲NO！

実行します！ 大阪市政5つの転換

1 「カジノ・都構想」第一から「くらし」第一の市政へ

- あびこ筋沿いの南北や、松虫通沿いの東西のバス路線がなく、困っている方がおられます。バス路線の拡充で、おでかけ応援の阿倍野区に！
- 阿倍野区では保育所に入れず、仕方なく他区へ引っ越した方も。待機児童を一刻も早く解消します。
- 高齢になっても阿倍野区で住み続けたい。そんな思いを受け止めて、特養待機者の解消をめざします。

2 異常な競争・管理教育から、どの子ども大切にする公教育へ

- 35人以下学級を小・中学校の全学年で実施。ひとりひとりの子どもに目が届く教育環境の整備をします。
- テスト漬けでは学力は伸びません。市統一テストをやめ、チャレンジテスト中止を府に要求します。

3 夢洲などの大型開発優先から、防災・生活密着の公共事業へ

- 「カジノ (IR)」計画はただちに中止します。
- 夢洲への地下鉄延伸よりもホーム可動柵の設置を優先させます。
- 公共事業は、南海トラフ地震・上町断層地震などの防災対策を最優先にすすめます。

4 中小企業が「主役」の経済対策をすすめます

- 中小企業の販路拡大や技術の革新を応援します。
- 商店街応援予算を増やし、地域の皆さんと力を合わせて元気な阿倍野の街づくりをすすめます。

5 大阪市解体は許さず、魅力ある大阪の街へ

- 大阪市、阿倍野区をなくす「都構想」を止め、大阪の文化や歴史を大切に、安心・安全でくらしやすい大阪をいっしょにつくりましょう！

区民の声を
日本共産党
市政に届ける



母として、働く女性として、業者夫人として、阿倍野区で28年間暮らしてきました。子育てや義母の介護の経験などが私を政治に向かわせる動機になりました。みんなが安心して子育てができる街。みんなが安心して歳を重ねることができる街。そんな阿倍野区にしたい。維新・安倍政治と対決する私にぜひ、みなさんのお力をお貸しください。

石谷ひさ子 プロフィール

1960年5月3日生まれ。すみれ幼稚園、生野南小学校、プール学院中学校、大阪府立今宮高等学校、大阪YMCA語学専門学校卒業。3人の子どもを育て、PTA、スポーツクラブの代表、乳幼児医療費助成・就学援助制度の拡充運動に取り組んできました。日本共産党阿倍野区生活相談所で、区民のみなさんのご相談を受けています。



無駄な
「大型公共事業」や「大阪都」
やめれば財源はあります



新あべの

2019年3月9日 No.188 発行：日本共産党阿倍野区委員会
大阪市阿倍野区王子町2-13-15 電話 06-6621-6092
日本共産党阿倍野区委員会の見解を紹介します。